

シルクスクリーンキットの使い方（日光利用、おひさま印刷）

目次

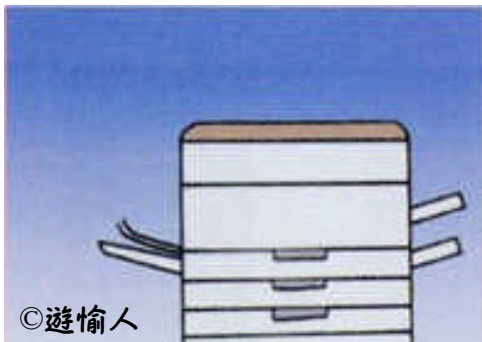
1. 原稿をつくる	・ ・ ・ ・ ・	- 2 -
2. 版をつくる		
2 A 1	フィルム感光の準備	・ ・ ・ ・ ・ - 3 -
2 A 2	フィルムの感光	・ ・ ・ ・ ・ - 3 -
2 A 3	乳剤の洗い流し	・ ・ ・ ・ ・ - 4 -
2 B 1	版の乾燥	・ ・ ・ ・ ・ - 4 -
2 B 2	枠の取り付け	・ ・ ・ ・ ・ - 4 -
3. 印刷	・ ・ ・ ・ ・	- 5 -
4. 乾燥	・ ・ ・ ・ ・	- 5 -
5. シルクスクリーンインクについて	・ ・ ・ ・ ・	- 6 -
6. よくある質問と答え	・ ・ ・ ・ ・	- 7 -
7. シルクスクリーンキットの注意事項など	・ ・ ・ ・ ・	- 8 -

※本書は喝采萬貨店「遊愉人」、および粋店モール「遊愉人（ホリデイ・キッズ・スタジオ）」にて商品をお買い上げいただいたお客様向けの説明書です。

シルクスクリーンスタートキット 版の作り方

1. 原稿を作る

- ・写真や元になる絵などの現行がある場合。



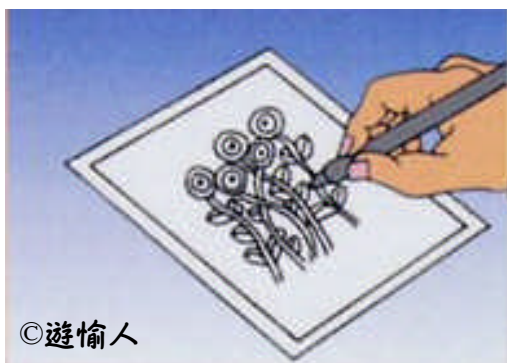
写真や絵などを転写して原稿を作る場合は、元になる写真、絵を白黒コピーして原稿を作ります。

濃淡のはっきりした元絵を使うと、きれいな原稿になります。

多色刷り用の版を作る場合は、まず、白黒の元原稿を作り、何枚かコピーをとって、各色毎に必要な部分のみを残します。

最終的な原稿は、トレーシングペーパーにすると、版が抜けやすくなります。（白い紙でもかまいません）

- ・オリジナルの原稿を作る場合



オリジナルの原稿の場合は、白い紙又はトレーシングペーパーに黒い不透明マーカーで原稿を作ります。

パソコンなどで作った原稿を版の原稿にする場合、インクジェットプリンタで出力した原稿そのままでは、版作成用原稿には適しません。インクジェットプリンタで出力した原稿は、トナー式のコピー機でコピーをとって下さい。

※版がうまく抜けない場合は、トレーシングペーパーやOHPフィルムにコピーしてみてください。

※版作成用の原稿についての注意点

版用の原稿が完成したら、日にかざしてみてください。黒い部分（版が抜ける部分）が透けたり、光が漏れているとうまく版が抜けません。黒い部分は真っ黒で光が透けないように、手書き原稿ならしっかり黒く、印刷原稿ならベタで印刷されていることを確認してください。

かすかに光が漏れる程度なら大丈夫です。

OHPフィルムは版の硬化が一番速いので、日光利用の場合は露光時間を長くしても版が流れてしまう場合におすすめします。

2. 版の作成

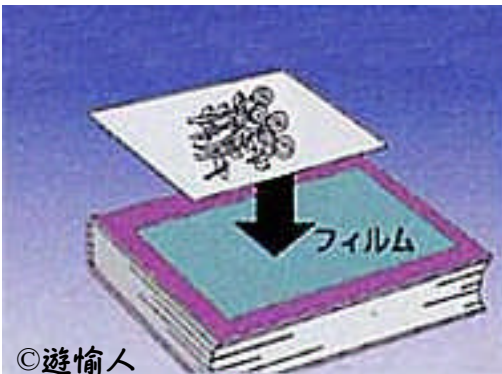
・準備

完成した版用の原稿、フィルム洗浄用のバット（容器）、柔らかいスポンジ、シルクスクリーンフィルム（袋入りのまま）、厚手の週刊誌などを準備します。

※感光後、フィルムを洗うので洗浄できる部屋（お風呂場や洗面所など）を確保してください。

日光が入らないように、窓は閉めてください。

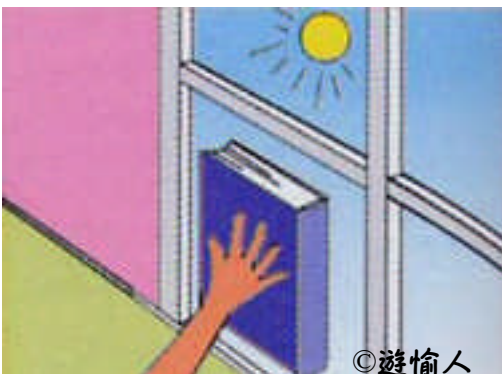
2 A 1 フィルム感光の準備 ※日陰の部屋でできるだけ素早く行ってください。



シルクスクリーンフィルムを袋から取り出します。

週刊誌などの厚手の本の上にシルクスクリーンフィルムを置いてその上に原稿を表にして乗せます。

2 A 2 フィルムの感光 ※日なたに出て感光します。



日光の当たる窓ガラスなどに図のように当てて、約30秒間露光します。

露光が終わったら、速やかに日陰の部屋にフィルムを移します。

2 A 3 乳剤の洗い流し（版を抜く） ※日陰の部屋で速やかに行ってください

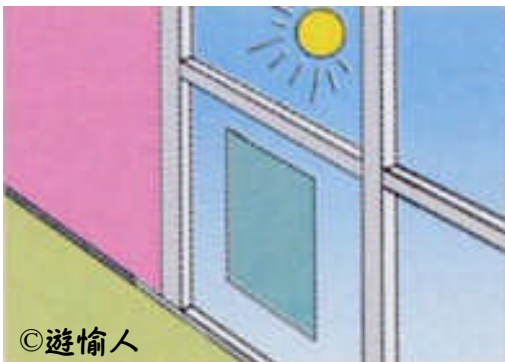


シルクスクリーンフィルムを原稿から外し、バット（容器）に入れて水洗いします。

柔らかいスポンジで表面をなでるようにして、優しく洗うと日光に当たらなかった所（現行の黒い部分）の乳剤が落ちます。原稿の形に乳剤が落ちて、メッシュ（網目）が出てくれば、版の完成です。

※複数の版を作る場合は、作るたびに洗浄水を新しくしてください。
溶けた乳剤の溶剤で版が溶けることがあります。

2 B 1 版の乾燥（必ず日光に当ててください）



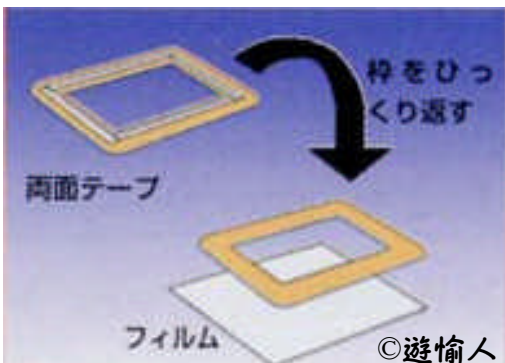
フィルムを洗浄して、版が抜けたら、再び日なたへフィルムを移し、日光に当てて版を乾かします。

（乾かすのと同時に残った乳剤を固める作業になります）

※乾燥は、ガラス板やプラスチック板などの表面をきれいにした板の上で乾燥してください。

新聞紙や雑誌の上で乾燥させると、紙のインク・溶剤を吸着して失敗します。

2 B 2 枠の取り付け



枠の片面に両面テープを貼り、台などの上に広げたフィルムに押し付けます。

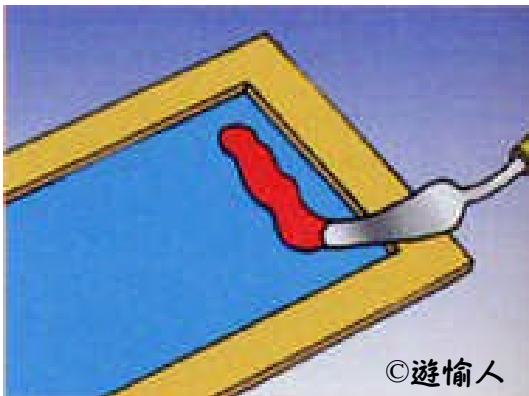
フィルムはなるべくピンと張って下さい。

3. 印刷

印刷したい素材（Tシャツ等）を作業しやすい台などの上に置き、版を印刷したい位置に固定します。



シルクスクリーンスタートキットをお買い上げの方は、パネルハンガーを使って、版をTシャツなどの印刷したい素材に固定します。



枠にインクをのせて、スキージで刷ります。

スキージはなるべく立てます。

寝かせると、インクが下に落ちにくくなり、かすれの原因にもなります。

基本は片道1回で力強くいっきにすばやく刷るのが、きれいに印刷するコツです。

刷るのは多くても往復1回までにしましょう。それ以上は版のブレなどの原因になります。

※はじめて刷る時はいらぬ紙などに試し刷りをしてみることをおすすめします。

4. 乾燥

Tシャツ等印刷が仕上がったら、干してインクを乾燥させてください。

遊愉人で販売しているインクは乾燥後に耐水性となります。

しっかりと乾燥させないと色落ちの原因になりますので、約一日干してインクを乾燥させて下さい。

5. シルクスクリーンインクについて

- ・シルクスクリーンインクは水溶性で乾燥する前であれば石けんなどで洗い落とすことができますが、乾燥後は耐水性になります。また、少量であれば水で薄めることもできます。
- ・布地用（ナイロン繊維は不可）のインクですが、紙・木・革にも染まります。
- ・混色も自由にできます。各色に白を足すと不透明のパステル色を作ることができます。

（印刷後のご注意）

- ・印刷後、完全に乾いた後、アイロンをあてて定着させてください。
- ・インクが定着不足の場合、洗濯した場合に色落ちする場合がございます。
- ・乾燥、定着後は普通の洗濯及びドライクリーニングが可能です。

（その他）

- ・ガラス、金属、樹脂性素材への使用はできません。
- ・当店販売インク以外のインクをお使いになる場合は水性インクをお使いください。
油性インクはご使用になれません。また、水性インクをご使用になっても、インクとの相性で版（乳剤等）への影響が出る場合がございます。予めご了承ください。
できるだけ当店販売インクのご使用をお奨めいたします。

※本ページのシルクスクリーンインクについての説明は「遊愉人」内で販売しているシルクスクリーンインク及びシルクスクリーンキットに付属するインク（本インク）についての説明です。

インク品番 ZG-26072,26073,26075,26076,26077,26081,26082

（商品ページ：<http://www.kassai.co.jp/you-yujin/myart/silkbuhin01.html>）

※他のインクと本インクの混合はお止め下さい。

※本インク以外をお使いの場合はお使いのインクの説明書に従ってご使用下さい。

6. よくあるご質問と答え

Q：シルクスクリーンフィルムは何メッシュですか？

A：160メッシュです。メッシュとはフィルムに貼ってある繊維の網目の大きさのことで、数字が大きくなるほど目が細くなります。

Q：版がうまく抜けません。

A：版が抜けない時は、露光時間（日光に当てる時間）を短くしてみてください。

また、フィルムを袋から取り出して、露光するまでの作業を素早くできるだけ早くしてみてください。

フィルムを袋から取り出した時から周囲の紫外線で露光は進みますので、できるだけ早く作業を終えるようにしてください。（手順2A1～2A3を早く終わるようにしてみてください）

フィルムを洗う際も日光に当たらないところで洗ってください。屋外や窓のすぐ側で洗うと、洗浄中も露光が進みます。

Q：フィルムを洗うと乳剤が全部落ちて、網目だけになります。

A：露光時間（日光に当てる時間）を長くしてください。乳剤が硬化する前に洗浄しています。

Q：目詰まりしてしまいます。

A：遊愉人で販売しているシルクスクリーン用インクは、水溶性のため、インクが乾いてくると目詰まりします。およそ10～20枚で目詰まりが始まりますので、その時は固まる前に洗い流してください。

石鹼水を使うとよく落ちます。

Q：使わなかったフィルムの保管は？

A：使っていないフィルムは、袋に入れて口をガムテープなどでよく閉じて、日光の当たらないところで保管してください。

Q：黒いTシャツや布にも印刷できますか？

A：黒や紺などの濃色地に白等の明るいインクをのせてもきれいに印刷可能です。

当店のシルクスクリーンインクは薄めて使うことができますが、濃色地に印刷する時は、薄めずに原液のまま使うほうがきれいに印刷できます。

但し、完全不透明インクではありませんので、重ね刷りや模様のある布地に印刷する場合は、場合によっては色ムラが起きる場合がありますのでご了承下さい。

7. シルクスクリーンセットの注意事項など

- ・当シルクスクリーンフィルムはフィルムに乳剤が塗布されており、この乳剤は紫外線（日光）に当たると硬化します。原稿の黒い部分に日光（紫外線）を当てないことで、他の部分を硬化させて、シルクスクリーンの版を作るようになっています。

版が抜けにくい時（下地のメッシュが出てこない）＝日光に当てる時間が長い

版が抜けすぎる（原稿の黒い部分以外も洗い流される）＝日光に当てる時間が短い

ということになりますので、露光時間を調節して最適な時間を探してください。

- ・すっきりした版をうまく作るにはトレーシングペーパーや OHP フィルムを使ってみるのをお勧めします。トレーシングペーパーの場合は白い部分が半透明部分になりますので露光時間を調節してください。半透明部分の硬化までの時間が早くなります。トレーシングペーパー又は第二原紙という名称で文具店などで売っています。通常のコピー機（コンビニなどに設置されている）でトレーシングペーパーのコピーをとる場合は、「手差しモード」を使用して、原稿の種類を「トレペ」または「第二原紙」にしてコピーしてください。（最近のコピー機は原稿の種類を指定をしなくても良いものもあります）

- ・フィルムを枠に貼り付ける時はフィルムをなるべくピンと張って貼り付けてください。ゆるみがあると、そこにインクが引っかかりムラやはみ出しの原因になり、目詰まりもしやすくなります。

- ・日光に左右されずに均一に感光させて版を作りたい場合は、露光器の販売もしております。露光器で約 1～3 分の感光後水洗いで版が作れます。

商品ページ <http://www.kassai.co.jp/you-yujin/myart/silkbuhin01.html>

- ・参考（レーザープリンターと OHP フィルム使用による版作成のデータ）

出力用紙：OHP フィルム（レーザープリンター用、エーワン製品番 27081（検知ライン付））

プリンター印刷プロパティ：スクリーン（網点）印刷＝「しない」

（イラスト・文字として印刷（ベタ印刷）、写真印刷（網点）にはしない）

用紙の種類：OHP または厚紙を選択

印刷設定：拡大縮小＝「しない」、回転、中央配置＝「しない」

露光時間

露光器使用にて、OHP＝55～65 秒、トレーシングペーパー＝約 90 秒

日光露光の場合は 15 秒程度から時間の調整をしてみてください。

免責事項他

- ・本書は Web ショップ 遊愉人にて販売している、シルクスクリーン商品についての説明書です。それ以外のシルクスクリーン商品に適用するのはご使用者様の責任でお願いします。
- ・本書の説明はシルクスクリーン印刷結果を保証するものではありません。手作り印刷を楽しむ趣旨での補助説明書としてお使い下さい。
- ・本シルクスクリーン関連商品についてのお問い合わせ、作品制作上のご質問は、喝采萬貨店「遊愉人」および粋店モール「遊愉人」でご購入されたお客様のためのサポートとさせていただきますのでご了承ください。
他店でのご購入のお客様におかれましては、ご購入店にお問い合わせください。
- ・再配布については、以下のことをお守りいただける条件で、配布してもかまいません。
 - 内容の改変等を行わないこと。
 - 遊愉人のロゴやアドレスなどを削除しないこと。
 - 個人利用に限り、商用利用はしないこと。趣味の印刷のお役に立てれば幸いです。

改訂履歴

- 2007-6-28 発行
- 2007-12-5 改訂
- 2008-11-8 改訂
- 2008-11-14 改訂
- 2009-6-19 改訂
- 2009-9-5 改訂